



企業と生物多様性セミナー

-第3回 生物多様性が招く企業リスク-

“生物多様性”は聞き慣れない言葉かも知れませんが、企業のマーケティングチャンスにも、企業存続の危機を招くリスクにもなりえます。生物多様性について、勉強してみませんか。

- 日時：2010年**4月19日**（月） 14:30～16:30
- 場所：**千葉県教育会館 501 会議室** [千葉市中央区中央 4-13-10]
※次頁に地図があります。第1・2回目と部屋が異なります。
- 主催：千葉県環境生活部自然保護課 [千葉市中央区市場町1 - 1]
- 共催：社団法人千葉県環境保全協議会・社団法人千葉県経済協議会
- 対象：県内に工場・事業所がある企業 150名（参加無料）
（企業向けのセミナーですが、一般参加者も受け付けます。）
- 申込・問合せ：事前申込制 千葉県自然保護課（担当：音谷）宛てに、下記申込書の内容を記載の上、メール又はFaxで**4/15**までに申込下さい。
TEL 043(223)2957 Fax 043(225)1630 Email hogo10@mz.pref.chiba.lg.jp

◇講演1 千葉県生物多様性センターより報告 (講演時間：30分)

◇講演2 “パームオイル利用企業と生物多様性” (講演時間：60分)

代島裕世氏（サラヤ株式会社 営業統括本部 広告宣伝部長）

「手肌と地球にやさしい」ヤシノミ洗剤は、1971年、当時の河川汚染を改善するために誕生した植物性エコ洗剤の先駆けです。しかし近年、植物原料のひとつであるパーム油の生産が拡大し、熱帯雨林減少など、現地マレーシアを中心に、様々な環境・社会問題を引き起こしています。エコ洗剤を名乗るためには、その原料調達地の生物多様性保全の視点も求められるようになったため、その緊急対応を迫られました。その経緯と、現在の活動近況を報告していただきます。

◇事例紹介 生物多様性保全の取組をしている企業から自社の取組を紹介して頂きます。

発表企業は決まり次第 HP(<http://www.bdcchiba.jp/index.html>)にて公表します。

.....
切り取らずこのままFAXして下さい

FAX:043 (225) 1630

第3回 企業と生物多様性セミナー申込書（4月19日開催）

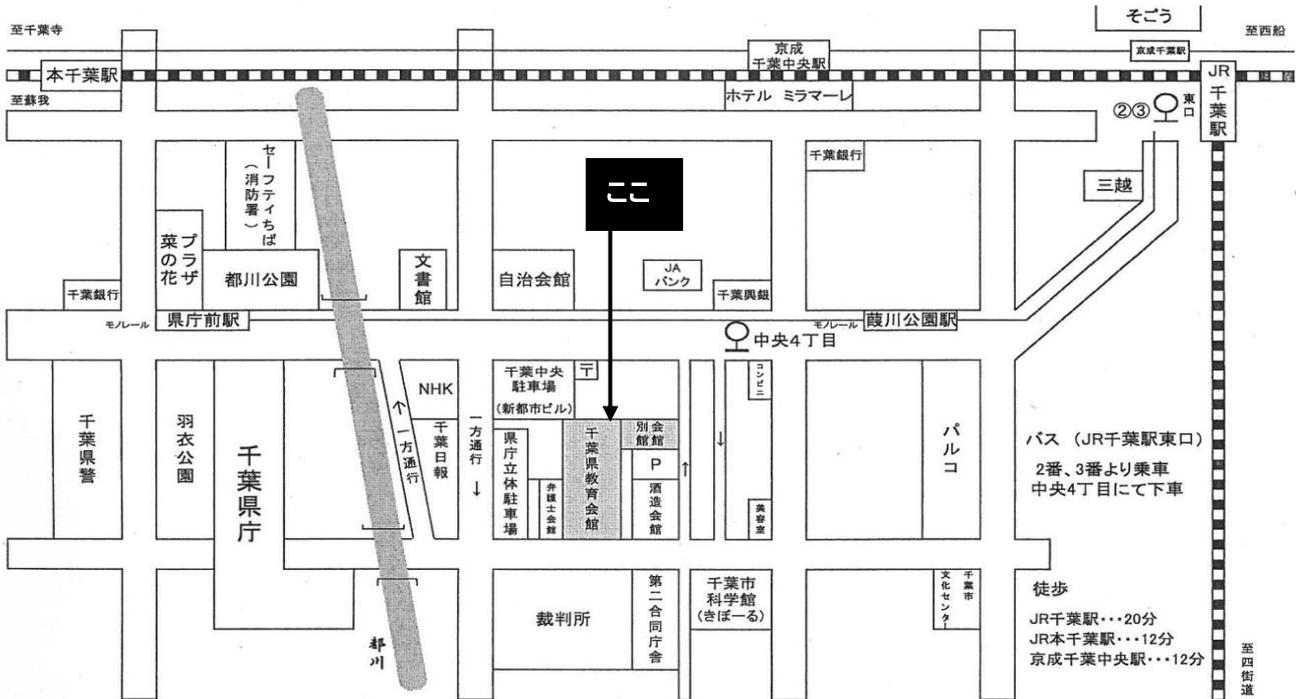
会社名		業種	
連絡先	TEL	E-mail	
参加者の 所属・職・ 氏名	_____ _____		



生物多様性による事業者へのリスクとチャンスの例

出典：「生物多様性民間参画ガイドライン（環境省2009年）」

分類		リスクとチャンスの例
操業関連	リスク	・生物資源の減少による、原材料の不足又は原材料調達コストの増大 ・生物資源の調達量の減少による、生産量又は生産性の低下、業務の中断
	チャンス	・生物資源の持続可能な利用や使用量の削減策による、生物資源の減少等の影響を受けにくい生産プロセスの構築 ・サプライヤーの取組の促進によるサプライチェーンの強化
規制・法律関連	リスク	・生物多様性保全に関連する法規制違反による、罰金の支払い、許可又は免許の停止・棄却、訴訟等 ・生物資源の使用割当量の減少、あるいは使用料金の発生
	チャンス	・生物多様性に配慮することによる、操業拡大の正式な許可の取得 ・生物多様性に関する新たな規制等に適合した新製品の開発・販売
世評関連	リスク	・生物多様性への悪影響の顕在化による、ブランドや企業イメージへの被害や、社会的「操業許可」の危機
	チャンス	・生物多様性への配慮を明示することによる、ブランドイメージの向上、消費者へのアピールや同業他社との差別化 ・生物多様性に配慮することで、地域住民等のステークホルダーの理解を得、関係を強化
市場・製品関連	リスク	・公共部門や民間部門におけるグリーン調達の推進による顧客の減少 ・環境品質の劣位による製品・サービスの市場競争力の低下
	チャンス	・生物多様性に配慮した新製品やサービス、認証製品等の市場の開拓 ・生物多様性の保全と持続可能な利用を促進する新技術や製品等の開発 ・企業や製品等の環境配慮に敏感な倫理観の強い消費者へのアピール
財務関連	リスク	・金融機関の融資条件の厳格化による、融資が受けられない可能性
	チャンス	・社会的責任を重視する投資家へのアピール
社内関連	リスク	・従業員の士気の低下
	チャンス	・従業員の士気の向上



(財)千葉県教育会館維持財団 千葉市中央区中央4-13-10 Tel.043-227-6141

※できるだけ公共交通機関の御利用をお願いします。